

説 明 書

1. 業務名

平成 30 年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「海外プロモーション事業（JNTO 連携含む）」

2. 実施時期

契約締結の日～平成 31 年 3 月 20 日

3. 業務の目的

我が国では「訪日外国人旅行者数については、2020 年には 4,000 万人、2030 年には 6,000 万人」を実現するために、これまで以上に効果的なプロモーションを展開していく必要がある。一般社団法人山陰インバウンド機構においては、「2020 年に 40 万人延べ泊以上」を目標に、2018 年度（4～3 月）25 万人延べ泊以上を達成することを目的としている。

そのような状況を踏まえ、本事業では、山陰地域における訪日外国人の増加のため、日本で開催される海外バイヤー向け商談会と、韓国・台湾・香港・タイ・シンガポール・フランスの 6 市場において、世界各地に向けてプロモーションを展開している JNTO との連携による効率的かつ効果的な旅行博覧会等への出展、商談会への参加を行うとともに、山陰地域内外の拠点施設での PR パンフレットの配架等により、海外の旅行会社・メディアならびに消費者の認知度を向上させ、送客数 1,000 人（延べ泊 3,000 人）を本事業の目標として誘客を図る。

4. 業務の内容

海外の現地旅行博覧会等への出展、商談会への参加

■海外旅行博等への出展、商談会への参加（予定、例）

以下の例のように、海外旅行博覧会・商談会等への参加を想定している。

（表 1）

	国・地域	イベント名	期間	希望ブース	商談会	商品造成 ツール制作
1	タイ	THAI International Travel Fair (TITF)	8/9～12	AGT	○ (JNTO?)	○
2	韓国	モドゥツアー旅行博覧会	8/30～9/2	単独	—	
3	中国 ・香港	中国(広東)国際旅游産業博覧会 (GITIE)	9 月上旬	—	○(JNTO)	
4	フランス	パリ大茶会	9/15-16	単独	—	
5	日本	VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2018	9/20～22	—	○	
6	シンガポール	Japan Travel Fair	10 月頃	AGT 又は単独	○	○
7	フランス	Salon Mondial du Tourisme Paris (SMTP)	3/14～17	JNTO? 又は単独	説明会	
8	台湾	台北国際旅展 (ITF)	11/23～26	AGT	○	○
9	タイ	バンコク日本博	1 月頃	単独?	○ (JNTO?)	

(1) ブース展示

各旅行博覧会において、「JNTO ブース」「旅行会社ブース」「単独ブース」のいずれかにより出展することとする。

(2) 商談会等

各旅行博覧会に併催される観光事業者向け商談会がある場合は、その申込みを行い、かかる費用を経費に含めること。

(3) 留意事項

① ブース管理

出展期間中、ブースに通訳2名（日本への留学経験がある者等）を配置すること。

（但し、「旅行会社ブース」に出展する場合はその限りではない。）

また、「単独ブース」出展の場合は、受託者責任者兼管理要員を1名配置すること。

② 必要機材等

「単独ブース」出展の場合は、出展者名表示板、カーペット、テーブル、椅子、電源コンセント、カタログスタンド等、出典に必要な機材等の調達と提供を行うこと。

③ 旅行商品の造成、販売

「旅行会社ブース」での出展の場合は、事前に現地旅行会社で山陰の旅行商品を造成し、可能な場合はブースで販売すること。また、ブースでの販売が不可の場合は、事後の販売に繋がるよう効果的なPRをすること。なお、商品については、一般社団法人山陰インバウンド機構と調整の上、旅行博覧会後の販売促進を実施し、実績を後記の事業実施報告書に盛り込むこと。また、販売促進にかかる費用は経費に含めること。

（旅行博覧会を含む包括的なプロモーションが可能であれば提案すること。）

④ アンケート調査

上記(3)-③を除く各旅行博覧会出展にあたっては、一般来場者を対象としたアンケート調査を実施すること。（サンプル数の下限は各旅行博覧会100枚とする。）

また、実施にあたっては、一般社団法人山陰インバウンド機構と調整を行うこと。なお、アンケート調査結果の翻訳・集計・分析を行い、内容を後記の事業実施報告書に盛り込むこと。

⑤ ノベルティの作成

上記(3)-③における商品購入者、ならびに(3)-④における回答者に対し、山陰エリアの魅力を実効果的にPRできるノベルティを作成すること。

⑥ 翻訳・運送等

一般社団法人山陰インバウンド機構と調整の上、関係資料の翻訳及び配布資料の印刷を行うこと。また、使用する関係資料等を梱包した荷物（重量50kg程度）の日本国内から会場までの国際運送手配、現地での收受、開封、運搬、配置等、事業の円滑な実施に必要な経費について所要経費に含めること。

⑦ その他

現地主催者等との連絡調整を行うとともに、出展者IDの発給申請等、出展に必要な諸手続の代行を行うこと。

■ セールスコールについて

各旅行博覧会に併催される商談会がない場合、或いは参加しない場合は、現地の観光関係者に対し、一般社団法人山陰インバウンド機構職員（1～2名）が訪問してセールスコールを実施することとし、各種手配を行うこと。

(1) セールスコールを実施する際の日数及び場所

各旅行博覧会開催期間のうち1日 ※予定

各開催都市および近隣都市に所在する観光関係事業者 3~4 箇所

(2) 留意事項

①連絡・調整

訪問先等は、一般社団法人山陰インバウンド機構と協議の上決定することとし、アポイントメント等の事前調整を行うこと。

②各種手配

セールスコール時の移動手段として専用車を手配することとし、かかる費用を経費に含めること。

③現地通訳

セールスコールの実施にあたり、参加する日本側関係者のために通訳1名（日本への留学経験がある者等日本語レベルが高い者）を手配し、参加者に随行して通訳業務を行わせること。また、そのために必要な費用は経費に含めること。

■その他

海外での各旅行博覧会に参加する一般社団法人山陰インバウンド機構職員2名に係る、渡航費・滞在費を経費に含めるものとし、現地における宿泊場所等必要な手配を行い、渡航・滞在において問題が生じた際にはフォローを行うこと。

なお、各旅行博覧会に対する渡航期間は、各開催日程を含む4泊5日（予定）とする。

PR用パンフレット等の配架

一般社団法人山陰インバウンド機構が制作するマップやフリーペーパー等をエリア外の拠点施設で配架することにより、山陰エリアの知名度ならびに魅力度の向上を目指し、誘客促進を図る。

(1) 配架時期

平成30年7月頃～平成31年3月

(2) 配架場所

首都圏・関西・山陽エリアの「Tourist Information Center」等

(3) 在庫管理

配架物の在庫管理、ならびに補充業務を行うこと。

事業の目標設定、事業の効果・実績の把握、分析等業務

各事業について、下記の項目を含む適切な目標を設定し、事業の効果・実績の把握・分析を行い、後記の事業実施報告書により取りまとめること。また、事業実施期間中の中間報告を一般社団法人山陰インバウンド機構に対し定期的に行うこと。

(1) 旅行博覧会等出展業務・セールスコール

旅行商品造成数（旅行会社名、商品数、ツアー本数等）、送客数、ブース来場者数、商談会参加事業者数

(2) PR用パンフレット等配架業務

配架箇所・配架物言語別消化部数

5. 成果物の提出等

(1) 成果物

各旅行博覧会展事業実施に伴う成果物 各5部（旅行商品パンフレット類等）
事業実施報告書（A4版） 5部

(2) 提出場所

一般社団法人山陰インバウンド機構

(3) 提出期限

平成31年3月20日（水）

なお、作成にあたっては、以下について留意のこと。

- ① 事前に監督職員の承認を受けること。
- ② 事業実施状況等をわかり易く編集すること。
- ③ 事業実施による効果を調査し、取りまとめること。

6. その他

- (1) 当該業務は「訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金」の活用を前提として実施するものであり、最適な提案書の提出者との契約手続は補助金の交付決定後に行うものとする。
また、本事業の交付決定がなされなかった場合、または交付決定額に変更があった場合は、契約を締結しない場合がある。
- (2) （一社）山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること。
- (3) 事業の実施にあたっては、「Japan. Endless Discovery.」のロゴマークや「縁の道～山陰～」のロゴマークを使用するなど、国の進める事業の趣旨に沿って行うよう配慮すること。
- (4) 可能な限り日本政府観光局（JNTO）が運営する Web サイト (<http://www.jnto.go.jp/>) や（一社）山陰インバウンド機構が運営する Web サイト (<https://www.sanin-tourism.com/>) へのリンク設定、URL・QRコードの掲載などによって、インターネットでの検索やアクセスが可能な環境を整備し、各 Web サイトへの誘導に配慮すること。